

〒 399-0711 長野県塩尻市大字片丘字南唐沢 6342-4

TEL (0263) 53-8802 FAX (0263) 51-1290 E-mail : kikaku@edu-ctr.pref.nagano.jp

目次

センター評議員会を開催しました	1
研修講座受講後（追跡）アンケートについて	2
研修講座の様子	3
センターからのお知らせ	4

センター評議員会を開催しました

平成28年度の評議員会を10月3日（月曜日）に開催しました。

研修講座や生徒実習，先端施設の視察



評議の様子



本年度は8名の評議員の皆様にご出席を賜り，センターの諸事業に関して，幅広い立場からご意見を頂戴いたしました。

評議の要旨は，Webページにアップ致しますのでご覧ください。

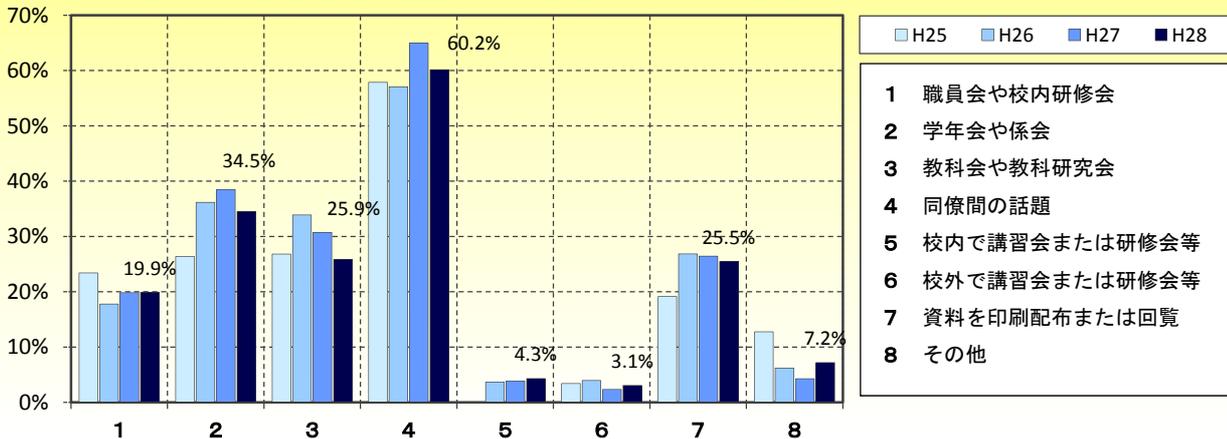
研修講座受講後(追跡)アンケートについて

希望研修対象講座(必修課題研修, 選択必修研修対象講座含む)において, 6月3日~8月30日までに実施した140講座(2,977名)の受講者から598名を対象者として実施しました。その結果の一部をご紹介します。

**お忙しい中, ご協力
ありがとうございました!!**

(校長先生)

対象受講者が受講した本研修内容の共有(報告等)は, どのように行いましたか。(複数回答可)

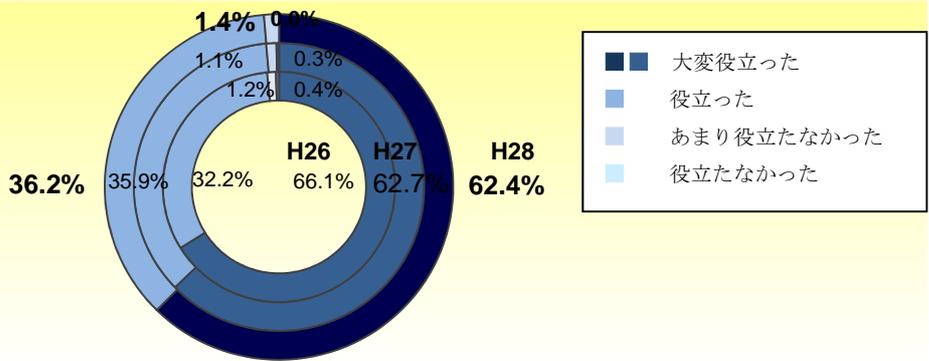


受講後の共有・活用への支援をすすめて3年目を迎えます。調査対象人数を倍にしても, 数値的に大きな変化は見られないことから, 受講内容の共有・活用, 資料の配布・回覧は定着していると考えています。また, 記述部から研修内容を受講者個人だけのものとせず, 授業研究会や校外の研究会での発表を積極的に行っている様子が見えます。センターとしては, より一層の共有と活用がすすむよう講座での配布資料や, 具体的な共有方法等について工夫をしていきたいと考えています。



ミガコ先生

(受講者) 受講した研修内容は役立ちましたか。



トモニ先生

「大変役立った」と回答した受講者が減少していますが, 調査対象人数を2倍に増加したことによる変化と考えています。受講当日のアンケートを見ますと, 受講者が講座に期待する内容が多様化してきています。センターとしては, 直ぐに活用できるもの, 課題解決への糸口となるもの, 同じ課題を抱える教員との協議, ICTの実践的活用等について受講者の期待に応えられる内容へと再考したいと考えています。

次年度に向けて

受講者のニーズ・抱える課題の多様化への対応として, 新たな教育課題に対応するための内容を取り入れ, 研修講座で模擬授業, 実践発表, 演習を充実させます。
講座構成については, 受講者同士の考えに触れ合うことは, 実践への意欲につながります。講義と演習や協議のバランスを考え, 講座の中で演習や協議の時間を十分とります。
ICT教育では, 情報教育に関する研修講座を精選し, 「プログラミング教育に関わる講座」の新設を考えます。
報告促進として, 研究会や職員会での報告は確実に増えていますが, より一層報告し易くなるように, 学校長・教頭に報告する場面を設定していただけるようにセンターが伝えます。
受講促進について, 上記の結果として「また受講したい」「同僚にすすめたい」と思っただけの講座を目指します。

受講者・主事共に明るく, 楽しく, 前向きに, そして夢がもてるような講座を目指します。



つなぐ先生

研修講座から

初めてのICT機器活用 A(6月3日) / B(8月10日)

この講座の目的は、次の3点です。

- (1)学校における教育の情報化と長野県の活用実態について理解する。
- (2)ICTの基本的な操作法と活用法を理解する。
- (3)各学校の設備に応じたICTの活用を考える。

講義や演習を通じて、ICT活用時の板書との関係をはじめ、「見とどけ」の大切さを知っていただくとともに、情報共有や視覚化することで学びの深まりにつながっていくことを知っていただけました。

◆◆◆感想の抜粋◆◆◆

- ・ICTの使い方にも展開の仕方次第で多くの工夫ができ、子どもたちに興味を示せることが分かった。
- ・ICTの使い方だけでなく、使う上での留意点なども詳しく学ぶことができました。
- ・生徒視点からの教えをいただいたので生徒の立場に立って機器が使いそうです。
- ・他校との合同授業や算数の図形や表・グラフの授業に生かしたい。
- ・ICTを積極的に使おうと思わなかったが、今回の研修で気軽に使えること、便利なこと、拡張性を学ぶことができたので授業で扱いたい。



主体的・協働的な学びのすすめ方 (8月26日)

この講座は、次世代型教育推進センターとの共催講座として開催されました。

この講座のねらいは、次の4点です。

- ・学習指導要領改訂に向けて国の動向を知り、要点を整理する
- ・課題の発見と解決に向けた主体的・協働的に学ぶ学習についての理解を深める
- ・主体的・協働的に学ぶための指導の方法等について学ぶ
- ・実践報告から学んだ指導法を、いかに授業に取り入れるとより効果的か考える

研修内容は、以下のとおり充実していました。

「学習指導要領改訂の動向」文部科学省 田村学 視学官

発表「実践を通してアクティブ・ラーニングを考える」次世代型教育推進センター研修協力員

演習「授業動画を活用したワークショップ型研修の提案」次世代型教育推進センター研修協力員

◆◆◆感想の抜粋◆◆◆

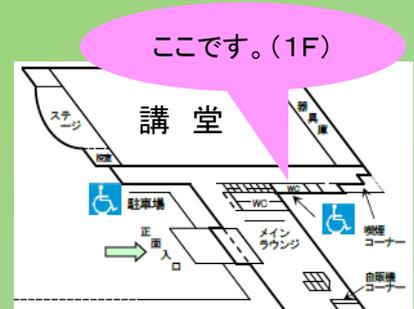
- ・とても分かりやすく具体的な内容で、さらに明日からでもすぐに実践してみたいくなるヒントが盛り込まれていてとても勉強になりました。
- ・これから成すべきことがわかり、やる気が出た。
- ・アクティブ・ラーニングのイメージと実際の授業をつなげることができました。
- ・アイデアが生まれそうです。刺激がありました。
- ・自分も生徒になった気持ちで協働的な学びの深まりを実感することができました。
- ・午前中からのパッケージがとてもよかったです。
- ・今日ここでしか学べないことと、ここでしか出会えなかった仲間と学べた満足感でいっぱいです。



センターからのお知らせ

展示スペースを充実しました

長野県児童生徒美術展 選抜作品

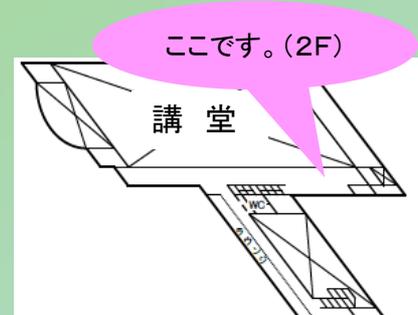


講堂入口脇のこのスペースに展示されている作品は、長野県美術教育研究会が毎年開催している「長野県児童生徒美術展」の応募作品の中から研究会に推薦していただき、お借りしている作品です。一つ一つの作品から、子どもの声を聞きとってみてください。絵の中から子どもの思いが感じられると思います。



ミガコ先生

国際理解教育パネル展



講堂脇の階段を上った落ち着いた空間に、この展示はあります。現在、UNICEFからパネルをお借りして、「ユニセフってなあに」「わたしも学校に行きたい」の二つの展示をしています。学校の価値や国際理解教育について改めて考えさせられるスペースです。今後も、JICAの展示なども予定されています。



トモニ先生

研修の休憩時間等にぜひご覧ください。



つなぐ先生